

平成 26 年 6 月 2 日朝礼

施設長 桑原英眞

研修への参加のすすめ

日々の業務に当たる中で、最近利用者さんの出入りや全身状態の悪い方が多くなって来ているとお感じのことと思います。

大きく見ると、今、医療・介護の領域では大きな変革期にあり、私達の老健は医療・介護・在宅療養の間の架け橋の役割を与えられていますので、より本来的な役割になりつつあるためとお考え頂ければ有り難いと思っています。

従いまして、皆さんが必要と思えば仕事のやり方も今まで通りにしないで見直しても良いと思っています。

肝心なことは、利用者さんの尊厳と安心、これを絶対忘れない。これを忘れないで老健の理念に則って仕事をしていけば自然に本来のより良い介護ができて来るとと思っています。

より良い介護を見つける近道は自分で考えるだけで無く他人のやり方を見たり聞いたりすることです。そしてそのためには、スタッフ側も気持ちに余裕を持って仕事を行うことが大事と思っています。“3人寄れば文殊の知恵”です。

なるべく仕事に追われなくて、仕事を追うようにする方法を互いに考えたり互いに相談したりして欲しいと思います。

そして、自分自身が心の余裕を持つ方法の近道は、研修会や講演会や学会、研究会への参加だと思っています。気楽な気持ちで参加して勉強して欲しいと思います。

私もそのような希望に対してはなるべく便宜を図っていきたくと思いますので遠慮無く申し出て下さい。

前月も申し上げましたが、老健一羊館の入所についての使命は介護施設として、

- 1、居宅療養できない方への施設療養の提供、
- 2、居宅療養できる方へのレスパイトケアの提供、
- 3、終末期の看取り対応の場の提供、

この3つです。

言い方を換えれば、

「居宅療養を意識した療養支援」であり、安定期の医療の提供と生活リハビリ即ち介護の提供です。

これらを忘れなければ、皆さんはきっと良い介護のお仕事ができます。

以上です。